

令和5年度第6回あおもり未来ミーティング（南部第7区連合町会）会議概要

日時：令和6年3月21日（木）16:57～18:27

場所：中央市民センター 中筒井分館

テーマ：筒井小学校への通学路の歩道整備について ほか

参加者数：18名

市側出席者：市長、副市長、総務部危機管理監、企画部次長、市民部長、福祉部次長、都市整備部長

■前回いただいたご意見への対応状況

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- セントラルパークから延びた道路の北側に歩道が出来たが、雪が降った後は除雪をしないと歩道を歩けない。ポンプ場付近には当町会のごみ収集所があり、人が通るが除雪されていないので危ない。北側を通ると信号待ちが少ないという利点があるため、除雪をお願いしたい。また、多目的駐車場について、無断駐車管理はどうなっているのか。

⇒北側の歩道除雪については、今年7月に総合体育館の供用が開始され、当該区間含め周辺道路は歩行者の増加が見込まれることから、来年度の冬は海手側の歩道についても除雪が必要になれば検討する。駐車場は、現在、冬期間閉鎖しており、4月から本格的に利用が開始される。セントラルパークは早朝に来園される利用者を想定し、夜間から早朝にかけて閉鎖することは難しいと考えるが、不法駐車を確認した際には車両に移動をお願いする張り紙をしたり、警察に相談するなどの対応をしていきたい。

- 幸畑町会には市民館があるが、避難場所に指定されていない。しかし多くの町民は避難所として指定されていると思っている。すぐ近くに小学校や青森大学はあるものの、遠いことや小学校南側に沼があり怖いと話している。幸畑市民館を避難所として認めてほしい。

⇒幸畑市民館は周辺において洪水、土砂災害等の災害リスクがないということが判明しているため、災害時や災害の恐れがあるときに、地域の方々が一時的に避難することは可能であると考えている。ただし、避難場所として活用するに当たっては、地震や台風などの災害の種類によってあらかじめ避難時のルールや手順を町会で作成、周知、訓練することが必要であり、それができれば避難所としての活用は可能である。地域の方が活用できる避難所としてのルールや訓練については、丁寧にアドバイスするので、遠慮なく相談してほしい。

- 火葬場の劣化が激しくなっており、亡くなってから火葬の許可が下りるまでにかかなり時間がかかっている。今後亡くなるかたが減少することはないと思うので、どのような構想で対応するのかを教えてください。

⇒青森市と浪岡町が合併した平成17年時点の火葬件数は2,836件、令和4年度の実績は4,151件と大幅に増加している。青森市斎場は通常8件で火葬対応し、需要が多い日は4件追加する三次火葬という形で最大12件対応している。このような状況や老朽化への対策、市民ニーズの多様化を踏まえて建て替える計画を令和4年に策定し、事業を進めている。昨年業者を決定し、12月に議会の承認をいただいて契約を締結し、現在は建設工事着手に向けて設計等の準備を進めている。新たに整備される斎場は、令和8年10月に供用を開始する予定で、火葬炉が8基、遺族の控室はこれまでの4室から7室に、告別室と収骨室はこれまでの2室から4室と拡充する形で考えている。この形で運営すると通常の稼働状態で1日14件対応できるため、今よりかなり余裕を持って葬送の予定を立てられ、ご遺族の負担も軽減できると考えている。ご遺族が故人とお別れする大切な時間をこれまで以上に安心して過ごしてもらえるように、施設機能を追加する予定であり、供用開始に向け、事業者と詳細を詰めながら施設整備を進めていく。